



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

第 260 号

2025/ 9

鉄道に繋ぐ岡山市のバス SHIFT 通勤通学に便利、渋滞対策抜群

■岡山市のバス計画は、第一歩として北長瀬・妹尾の路線新設が行われたが、地元などの意見を取り入れて細かく改善されて、6月30日の岡山市公共交通網形成協議会第14回で示された。

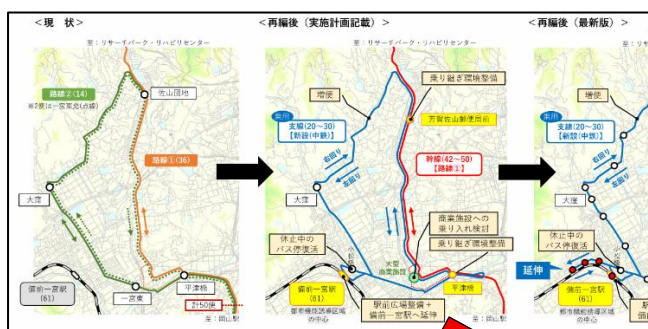
①バス網を都心・幹線・支線に分け、幹線では重複を整理し、支線では小型車両も導入する



詳しい資料は岡山市ホームページで「岡山市地域公共交通網形成協議会」と検索して下さい。今回は 14 回・12 回を中心に構成しました

(津高・汗入・児島半島については 12 回資料より)

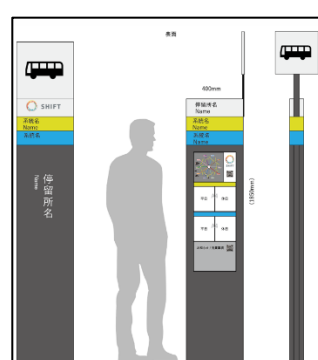
②一宮・庭瀬・妹尾・備前原の駅に新規乗入れし、鉄道との結節を改善する、環状ルートも新設(一宮は 12 回、他は 14 回資料より)



10月1日運行開始



9月15日運行開始



③支線をコミバスの的に地域の足として、病院・量販店などにつなぐ(操南台・庭瀬は 14 回資料、西大寺は 12 回資料)



④支線では岡山市が小型バス購入し、65%まで経費負担 ⑤ICカード・GTFSデータを活用し、統合分析してサービス提供を改善

[解説] 岡山の電車バスは、JR線が岡山駅を中心として8方面、民間バス会社が多数運行する等、地方都市としては有数の交通アクセス網がある。しかし都市交通としてみればサービスレベルは不足している。県のパーソントリップ調査では、岡山市北区の電車バス分担率は12.3% (自動車分担率56.1%)と高く、県南各地や津山からも通勤需要がある。中区8.7%、東区は8.2%だが南区は4.5%と低迷。政令市ならば、全域で20%程を目指せば、都市交通充実により、移住定住促進や商業集積拡大、学生就職、渋滞対策にもプラスだ。スタジアム・アリーナ・岡山マラソンなど都市のアメニティは、お酒も飲んで、電車バスで楽しむものだ。JR線の増便も必要だ。(下記全体図は 14 回資料より)



NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)
事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502
E-mail:info@racda-okayama.org
URL:http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索

